



新藤兼人賞

SHINDO KANETO AWARDS



第 8 回新藤兼人賞

2003年12月9日 渋谷シネアミューズ

主催：協同組合 日本映画製作者協会

特別協賛：富士写真フイルム株式会社／報映産業株式会社

協賛：東映株式会社／株式会社IMAGICA

審査員委員会

佐々木史朗／進藤淳一／利倉 亮／三宅澄二／安田匡裕／山上徹二郎／李 鳳宇

金 賞

李 相日『BORDER LINE』 監督・脚本



受賞者プロフィール 1974 年生まれ。小中高と横浜にある朝鮮学校に通う。大学在学中、映画製作・配給会社シネカノンの代表・李 鳳宇氏の紹介で撮影現場を経験。大学卒業後、日本映画学校に入学。そして卒業制作作品として「青～chong～」を監督、「PFF アワード 2000」にてグランプリを受賞。ロッテルダム国際映画祭、プサン国際映画祭、にいがた国際映画祭他、国内外の国際映画祭に正式招待され、初監督作品ながらその演出力が高く評価される。本作「BORDER LINE」が長編デビュー作となる。

『BORDER LINE』

プロデューサー：天野真弓 撮影：早坂伸 照明：原春男 美術：菊地章雄 音楽：AYUO 衣装：宮本まさ江
製作：PPF パートナー ズ配給：ぴあ 特別協賛：Kodak 製作協力：シグロ
出演：沢木哲/前田綾花/村上淳/光石研/麻生祐未/他

第 12 回 PFF スカラシップ作品／2002 年バンクーバー国際映画祭コンペティション部門スペシャルメンション授与／2002 年釜山国際映画祭コンペティション部門正式招待／2002 年ベルリン国際映画祭ヤングフォーラム部門正式招待／2003 年香港国際映画祭正式招待

ある事件が 17 歳の少年を自転車で北へ向かわせた…。

彼と行動を共にするタクシー運転手、しがたないチンピラ稼業を続ける 40 男、援助交際にはしる女子高生、リストラ夫といじめにあう息子を抱えた主婦。それぞれ、ギリギリのところまでふみとどまっている彼らは皆、家族との繋がりに傷を持っていた…。

ほとんど誰もががかって経験し、あるいは今抱えている親子の問題を、年齢も性別も違う 5 人を通して描かれる。

銀賞

竹下昌男『ジャンプ』 監督・脚本



受賞者プロフィール 1960年大分生まれ。CM制作会社を経て、「ジェラシーゲーム」（東陽一監督）でフリーの助監督になる。助監督として「リボルバー」「はるかノスタルジー」「青春デンデケデケデケ」「バウンスKoGALS」等に携わる。本作が第一回監督作品となる。

『ジャンプ』

監督：竹下昌男

原作：佐藤正午（光文社刊） 脚本：井上由美子 撮影：丸池納 音楽：大友良英

製作：エンジンネットワーク／バンダイビジュアル／IMAGICA 配給：シネカノン

出演：原田泰造／牧瀬里穂／笛木優子／光石研／鈴木砂羽／伊武雅刀／他

「本の雑誌」が選ぶ2000年度ベストテン第1位に選ばれた佐藤正午原作「ジャンプ」の映画化。

ある春の夜、恋人がリンゴを買いに行ったまま突然姿消した。主人公、三谷純之輔はその美しい恋人の足取りを懸命に追いかける。足取りもつかめないまま、あっという間に半年が過ぎ、5年の歳月が過ぎ去った。その失踪の記憶も薄れた5年後、偶然に訪れたその恋人との再会。そして彼女の口から語れたその失踪の謎とは？ミステリーの形式をとりながら、一人の男が成長していく姿を描いていく新しい形の青春映画がここに誕生する。

審査委員長総評

佐々木史朗（オフィス・シロウズ）（ホテルハイビスカス、ナビィの恋、コンセント、ごめん、アンテナ、他）

新藤賞の審査は日本映画製作の第一線にいる七名のプロデューサーでおこなわれ、各作品の「俳優への演出力」「監督としての技術」「モチーフの選び方」「映画としての完成度」「将来への可能性」について論議しました。

多様な作品を見ることは私たちにとっても新しい刺激で、考えさせられることの多い審査会でしたが、論議の中心におかれたのは「この作品をつくろうとする監督の姿勢」という点でした。新たなエンターテインメントを目指そうとする作品、関心をそそられる一人の人間にアプローチしようとするドキュメンタリー、現代の若者の心情に迫ろうとした作品など、さまざまな試みの中で荒削りながらも社会の様相と個人との関係を骨太に構築しようとした

「BORDER LINE」（李相日作品）に金賞を、また的確な演出力でドラマを作り上げた「ジャンプ」に銀賞を贈呈することに決定しました。

いままでの受賞者がその後、さらに力のある作品を作り続け日本映画の一角を形作っていることでもあり、今回受賞の両氏の今後に大きな期待をかけたいと思います。

2003 年度審査委員会

審査委員長 佐々木史朗（オフィス・シロウズ）（ホテルハイビスカス、ナビィの恋、コンセント、ごめん、アンテナ、他）

審査員 安田匡裕（エンジンネットワーク）（はつ恋、ekiden、ココロコト、Quartet、SEOUL、卒業、深呼吸の必要、他）

進藤淳一（フィルムフェイス）（化粧師、鉄道員、秘密、大河の一滴、巖流島、命、他）

利倉 亮（レジェンド・ピクチャーズ）（HYSTERIC、不確かなメロディ、DOG STAR、Mrs. 他）

三宅澄二（ミコット・エンド・バサラ）（ぼくんち、blue、青い春、荒神、2LDK、DOG STAR、青い春、他）

李 鳳宇（シネカノン）（月はどっちに出ている、ビリケン、のど自慢、KT、ゲロッパ！、他）

山上徹二郎（シグロ）（ハッシュ！ 私のグランパ、チョムスキー9.11、花子、絵の中のぼくの村、風音、他）